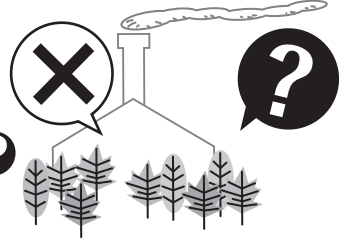


ゴミ施設は、初めから「白馬」「飯森」に決めていた!?



この件に関するミニ勉強会を行います ●日時…9月13日(木)19時〜21時 ●会場…ふれあいセンター老人いこい室



行政は、住民説明会の中で、ごみ処理施設の用地選定は「ごみ処理施設用地選定委員会」(平成18年度実施/以下、用地選定委員会)において、18ヶ所の候補地から選定項目を元に、1次(11/20、8カ所)・2次(1/19、5カ所)・3次(2/5、1カ所)と絞り込み、2/15に最終確認をして最終候補地が「飯森」に決まったと説明してきました。

しかし実際は、昨年(2006年)の10月20日に「打合会議」と称する3市村の長が集まる別の会議で決めていたと事が、情報公開請求で出てきた資料から判明しました。

H18.10/20「進行次第」、情報公開請求で入手(全文をごみ連協のHPに掲載中)

…(前略)

続いて、大町市さんからお話のありました、中継施設の覚書について、お聞きしたいのですが、それぞれ3市村では焼却施設がどこまでなら中継施設は必要とならないとお考えでしょうか？

大町市
白馬村
小谷村

ただいま、お考えをお聞きしたわけですが、3市村で言われた〇〇から〇〇の間でなければ、中継施設が必要となることとなります。そうしますと現在、4箇所を市村から候補地として上げていただいておりますが、大町市から候補地として上げていただいている常磐地区と仏崎地区については、除外され、白馬村の内山地区と飯森地区となってくると思います。

そこで、ざっくり白馬村さんにお聞きする訳ですが、…(略)…、建設用地について、白馬村さんにお聞きすることができないか。いかがでしょうか。

白馬村さんには、ご無理を申し上げ大変申し訳ないことと存じますが、ただ今白馬村さんからお引き受けいただいたことにより、現在、用地選定委員会で進めております用地選定につきましては、〇〇地区に絞り選定を進めていきたいと思っております。

…(略)…

それと話が前後しますが、用地選定業務については、選定委員会からの報告書の作成や地元説明会等、かきょうを迎えることから、過日説明させていただきましたように、専門コンサルタントに入ってください進めたいと存じます。当初予算で550万円を計上済みでありますことを申し添えます。

北アルプス広域連合(行政)側は、先日の広域議会(8/28)のこの問題について質問した議員への回答として、「いくつか作った進行次第の一つ、…当日は進行次第とは無関係に会議が進んだ」と発言した。しかし…



- ①各市村のトップ、大町市長・白馬村長・小谷村長以下が召集された非常に“重要”な会議であった。
- ②「用地選定委員会」で18カ所の候補地も出揃っていない時期に、このような資料を作る事ができたのは何故か？
- ③この文書中の「中継施設」の件は、「第8回ごみ処理広域化特別委員会」(11/21)の議事録で、この「打合会議」で確認したとある。
- ④この文書中の「専門コンサルタント」の件は、実際にコンサルタントと11月9日付けで契約がなされている。

以上の事実より、平成18年10月20日には最終候補地「飯森」が決まっていたと考えられます。

この事より、議会決議を無視してまでも「用地選定委員会」の構成を行政のみの委員に変更する(詳細は前号 vol.11)必要性が分かります。

※上記の「行政のみの委員」とする理由を行政側は「委員の住民に「嫌がらせ電話」などがあり迷惑をかけるから…」としています

また、最終候補地が決まっていながら、あたかも適切に選定を行っているように装う為に、コンサルタントに作文(用地選定報告書)を書かせています。これは住民や議会を欺くものであり、このコンサル費用は、公金の不要支出ではないでしょうか。



新ゴミ処理施設建設計画の
白紙撤回署名数(8/30現在)

署名

村内 約 **4,123名** 村外 約 **13,151名**

※エコーランド地区の署名(200筆)含む

問題点 ダイジェスト

ごみ連協が、情報公開請求等で得た資料から明らかになった問題点です。その他多数ありますが、一部要点をまとめて掲載します。

A 広域連合は、随所で「検討委員会^{※1}で選定方法・選定項目を審議し、その結果を受けて候補地 11 カ所の選定を行った」と説明し、さも「検討委員会」が用地選定に関わったような印象を与えていますが、「検討委員会」の議事録から、その事に全く関わっていない事は明らかですし、委員長の信州大学・松岡英子教授からも「選定は行ってない」とのお手紙を頂いています。

※1…ごみ処理広域化基本計画検討委員会（唯一住民代表等が入っている会議）

B 18 年度 予算で 決定 (2/21) した「ごみ処理施設用地選定委員会」の委員報酬：計 78 万 8 千円（公募委員 2 名、関係団体 2 名、学識経験者 2 名 議会関係〈大町、白馬、小谷〉3 名）が、行政関係者だけしか参加しない委員会に変更された。
※「ごみ処理施設用地選定委員会」は 5 月 30 日に設置

C ⑧の原因を作ったのがこの会議。「用地選定委員会」の設置要綱を作った。検討委員会の提言もを無視し、オープンでない組織を作ったのは何故か？

D 平成 18 年 10 月 20 日に、最終候補地「飯森」が決まっていた事を示す資料が判明した。詳細は、この裏面をお読み下さい。

E 候補地は広域連合の行政側だけで独断専行で秘密裏に決定された。広域議会では検討はおろか、新聞報道まで知らされなかった。

B,C,E の説明は 9/9 発行 (vol.11) で記載しました。必要な方は、事務局までお申し出下さい。

“公表している” 会議等の経過

住民説明会や議会で説明している運営体制

